



25年前の1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災は近代都市を襲った日本で最初の大災害であり、災害報道のあり方が大いに議論される原点となりました。直後にテレビの記者として現地取材し、その後ラジオの震災番組に長期間かかわった講演者が、当時の災害報道を振り返り、今につながる教訓はなにかを皆さんと一緒に考えます。

毎日放送 報道局クロスメディア部

大牟田 智佐子

2020 1.17 FRI 18:00-19:30

名古屋大学減災館1階 減災ホール

震災報道の原点 阪神・淡路大震災

予約不要・入場無料

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。
※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。

主催：名古屋大学 減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL: (052) 789-3468